

**デジタルアーカイブ学会第6回研究大会
セッション1. デジタルアーキビストの在り方
デジタルアーカイブ学会人材養成・活用検討委員会
デジタルアーカイブ産業から見たアーキビスト**

【企画提案者】

デジタルアーカイブ学会人材養成・活用検討委員会

【企画趣旨】

デジタルアーカイブ開発を担う人材としてデジタルアーキビストが注目され、政権与党の知財調査報告に国家資格化が明記された。しかし、学会内でデジタルアーキビストに関する統一的な見解は明確になっていない。そのため、デジタルアーカイブ学会人材養成・活用検討委員会が中心となって、プロデューサーとして、国内外の動向を把握し、組織のミッション、理論、技術を確立し、他のデジタルアーカイブ提供機関と連携し、継続的にデジタルアーカイブを提供するため、ヒト、モノ、カネをマネジメントしながら、ミッションをもって活動し、社会に貢献する、硬派の人材としてのデジタルアーキビストのあり方を考えたい。

DNP

2021.10.16
Ichiro.HISANAGA

90年代のデジタルアーカイブ「産業」は

③主にデジタルカメラの撮影



リアルをデジタルへ

⑤自施設内利用 コンテンツ



⑥インターネット公開



④データベース 構築



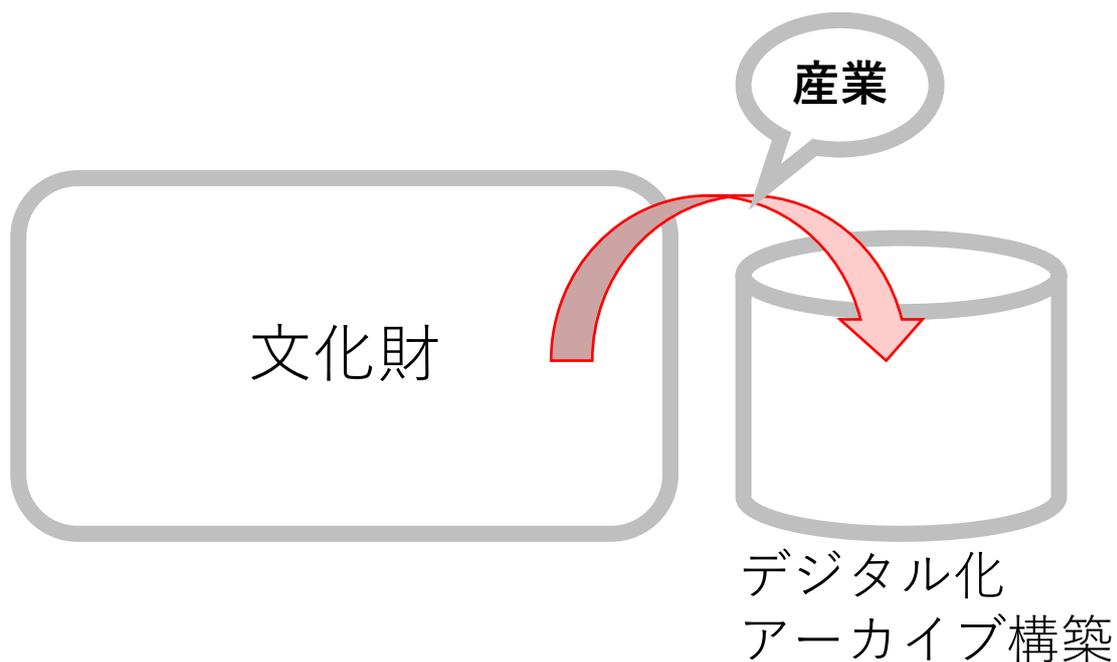
①主に税金 一部、大手企業

②主に文化財 有形（無形）

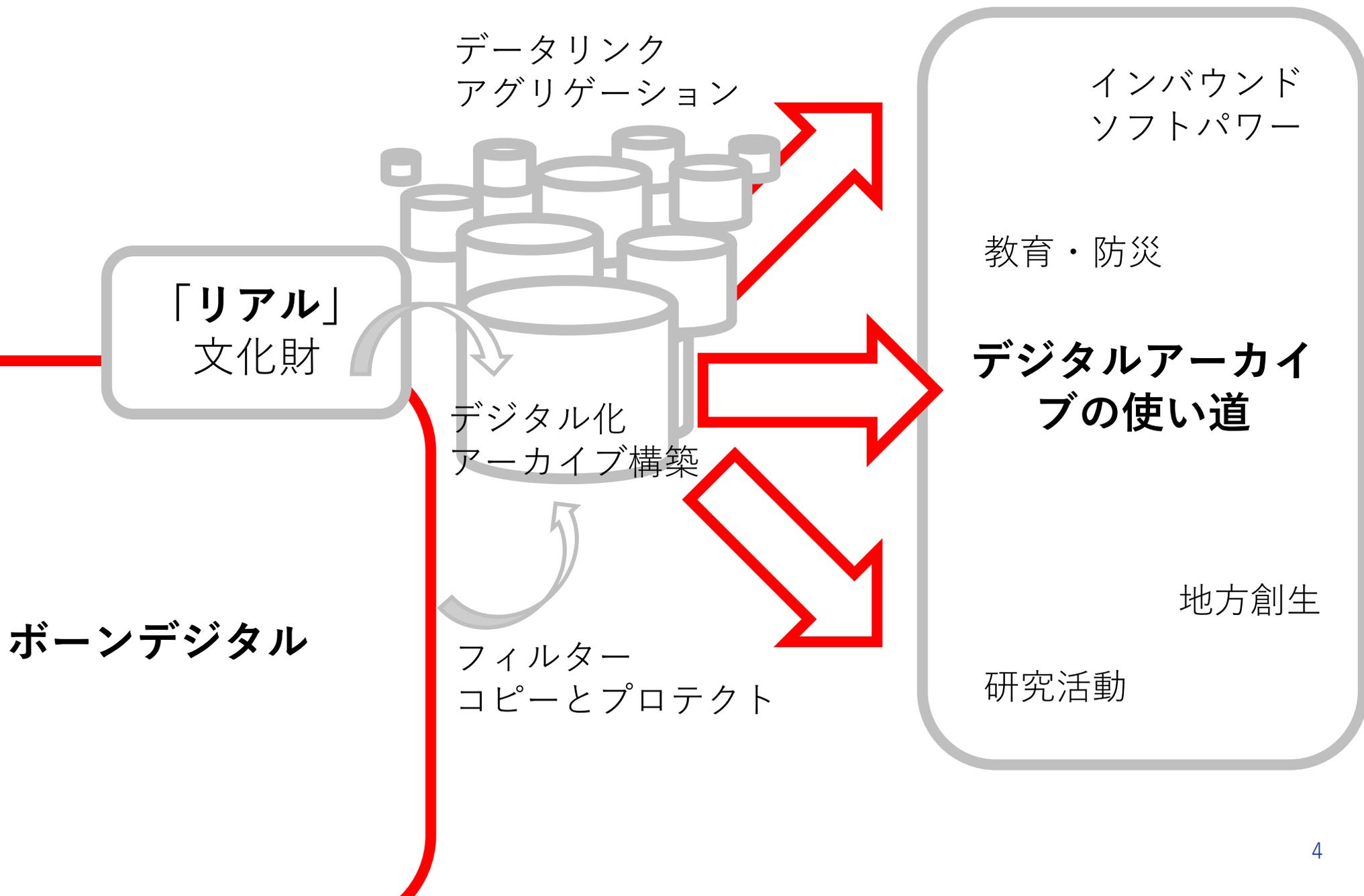


シンプルです。

「デジタルアーカイブ」の重点が移動

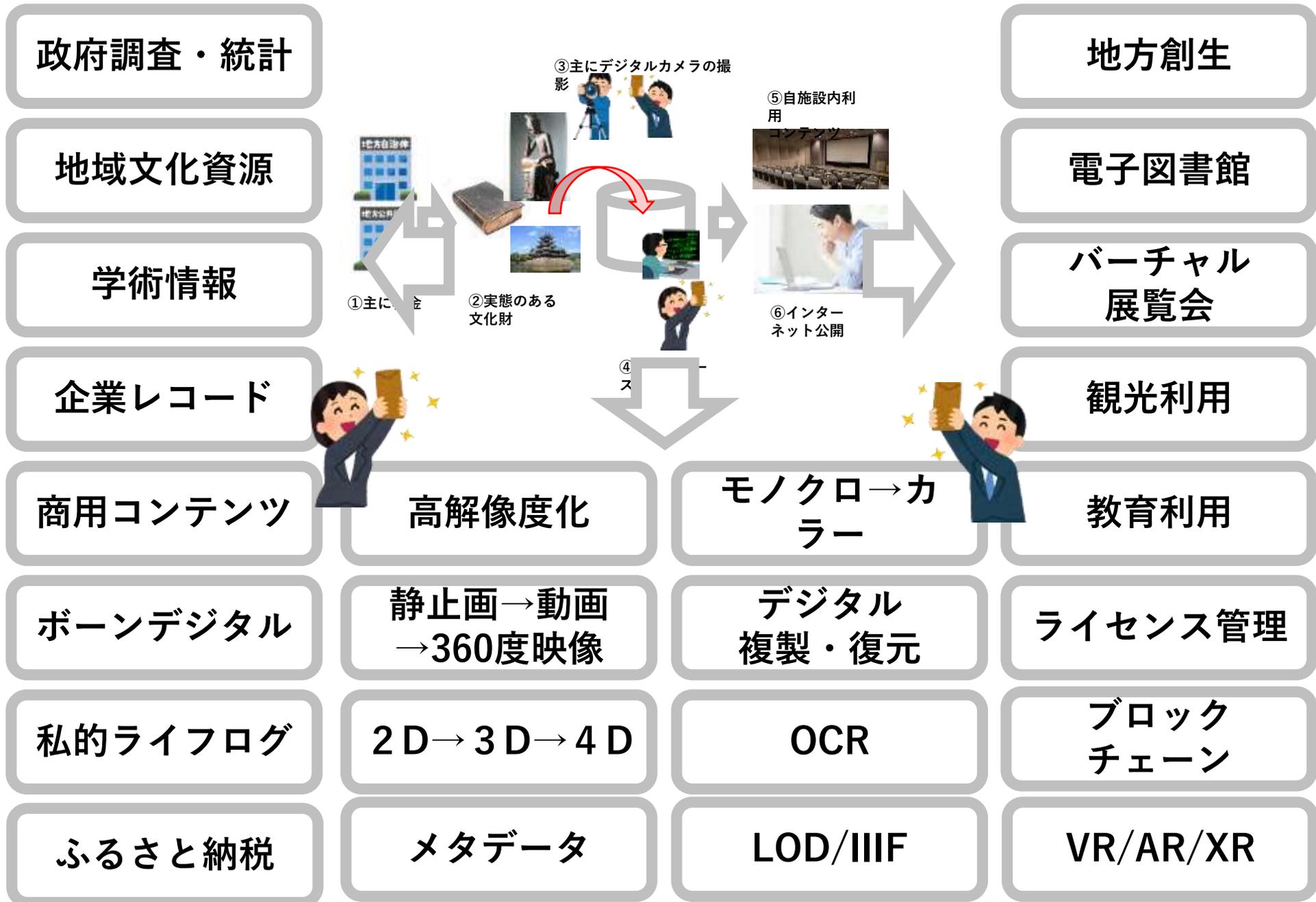


10年代以降のデジタルアーカイブ「産業」は重点が移動



10年代以降のデジタルアーカイブ「産業」は拡大

DNP



しかし
民間ビジネスで
これからアーカイブにかかわる人には

10年代以降のデジタルアーカイブ「産業」は

サーバの場所

デジタルアーカイブは利便性に比例して従来よりコストがかかる。

カーボンニュートラル

AIとか、暗号化処理とか

海外の商慣行の知識



スピード

著作権改正等、公開しやすくなった分、悪用の可能性も拡大

デジタルアーカイブの都合とは関係なく
技術革新。

：HD→4K→8K→きりがなし
レーザー計測→フォトグラ→？
ディスク？フラッシュ？テープ？
→設備投資を回収できるか課題

モノク
ラ

デジ
タ

メタデータ

世界的なオープン
ソース化でライセン
スビジネスも不安

XR

本当にデジタルアーキビストに求められるのは、、、
そのデジタルアーカイブの価値を社会に説明できる人